

🌱 こおりまち

議会だより

平成30年冬号 VOL.111



② **イノシシ被害対策のさらなる強化を求め**...

⑥ **いかに稲作農家の所得安定を図るか**
(一般質問・8名登壇).....

幼稚園児による「ホタピーダンス」

P18に関連記事が

イノシシ被害対策のさらなる強化を求め

全長15kmを設置した侵入防止柵



これまでの経過

平成26年11月、イノシシによる被害が多発していることを受け、議会は先進地である、滋賀県米原市、大津市へ有害鳥獣対策、中でも「防止柵設置状況」を重点に視察研修を行った。

その結果、「進入防止柵は大変効果がある」と判断、防止柵設置の必要性を町に求め、27年度、上成田、一部松原下町内会をモデル地区に2,600mを地区住民の方々の協力を得て実施された。さらに農業被害のみならず地区住民の生活環境を守るうえで町主導で全線設置するよう全会一致で決議を提出した。これを受け、進入防止柵を延長することで被害をくい止められるのではと陸合から国見町と隣接する泉田地区まで15km、それぞれ地域住民の協力のもと28年の事業として実現した。しかし、イノシシの被害は今でも続いている。10月に行った議会報告会・意見交換会のなかでも、イノシシ被害に対する対応を求める深刻な意見が多く寄せられた。

さつそく議会全員協議会において議論のすえ、陸合・半田両地区選出議員により、イノシシ対策懇談会を実施することを決めた。議題を次の3点に絞った。

- ① 道路からの進入対策について
 - ② 防止柵の里側対策について
 - ③ 防止柵の維持管理対応について
- 議会は頂いた多くの意見をもとに、再び会議を開き意見交換を行った。そして12月定例会会期末に左記の「安全安心な町づくりのため有害鳥獣(イノシシ)対策の抜本的強化を求める要望書を全会一致で提出した。

要望書提出

安全安心な町づくりのため有害鳥獣(イノシシ)対策の抜本的強化を求める要望書

本議会は、去る5月23日の臨時会で「有害鳥獣対策に万全を期すべきことを求める決議」を採択した。町当局は、6月定例会一般会計補正予算において、侵入防止柵沿線の緩衝帯設置予算として500万円を計上しこれに応えた。

しかし、道路等からの侵入防止や侵入防止柵の里側対策予算の計上はなく、今日に至っている。

今般、議会全員協議会の協議に基づき、半田・陸合地区議員による「イノシシ対策懇談会」がもたれ、関係住民と意見交換が行われたが、その結果、明らかになった緊急課題は次の3点に集約できる。

町当局におかれては、下記3事項の速やかな実現に向け最善を尽くすよう求めるものである。

記

1. 大小様々な道路、沢等からの侵入防止のための必要な措置を講ずること。そのためこのたび予算計上された「テキサスゲート

(グレーチング)」の導入を始め、新たに開発され各地で実施されている新手法の積極的導入に努められたい。また、隣市町からの侵入にも備えられたい。

2. 侵入防止柵里側対策を強化すること。そのため、里側山林外縁部の柵による囲い込みと追い上げ、及び捕獲方法の開発、雑木・雑草・藪地帯の刈り払い、イノシシの棲息域ともなる遊林農地等対策を強化されたい。

3. 侵入防止柵の補強及び、同沿線緩衝帯等の長期安定的な維持管理体制を確立されたい。

なお、事業の推進にあたっては、有害鳥獣実施隊や関係町内会と密接な協議を行いつつ、町が主導的に速やかに進められるよう強く要望する。

平成29年12月11日

桑折町議会



— 整備された緩衝帯モデル地区 —



— 未整備の柵のまわり —

12月定例会

平成29年12月定例会は12月5日から11日までの7日間の会期で開催された。

提出案件は条例改正1件、町道路線廃止1件、町道路線認定1件、補正予算5件、財産取得1件の9件を審議しすべて原案通り可決した。

条例改正

職員の給与に関する条例の一部改正
 県人事委員会の勧告に基づき、若年層の給料月額を引上改定、期末・勤勉手当については年間支給月数を、0・1月分引き上げ改定する。

町道路線廃止

町道第4001号線(やすらぎ園入口)延長30・5mを廃止する。

町道路線認定

町道第4001号線(役場庁舎予定地周囲)延長230・5mを認定する。

補正予算

旧醸芳中プール解体追加工事費外
 一般会計(7号)
 歳入歳出予算の総額にそれぞれ

れ2,463万3千円を追加し、予算総額を55億6,917万9千円とする。

- ・歳入の主なもの》
 - ・福島再生加速化交付金の減 ▲967万1千円
 - ・前年度繰越金 2,703万2千円
- ・歳出の主なもの》
 - ・旧醸芳中プール解体追加工事 490万2千円
 - ・うぶかの郷ポイラー更新外 1,369万5千円

国民健康保険特別会計(事業勘定)(第3号)
 歳入歳出予算の総額にそれぞれ5,605万円を追加し予算総額を16億4,429万4千円とする。

- ・歳入の主なもの》
 - ・前期高齢者交付金 5,500万円
- ・歳出の主なもの》
 - ・高額医療該当者の増による補助給付費の増 2,300万円
 - ・人事異動に伴う職員給与の増 3,100万円

介護保険特別会計(保険事業勘定)(第2号)
 歳入歳出予算の総額にそれぞれ

れ38万1千円を追加し予算総額を15億6,535万3千円とする。

- ・歳入》
 - ・一般会計繰入金を減額 ▲43万4千円
 - ・システム改修補助金決定による 81万5千円
- ・歳出》
 - ・人事異動による職員給与の増 38万1千円

公共下水道事業特別会計(第2号)
 歳入歳出予算の総額にそれぞれ17万9千円追加し予算総額を3億6,836万3千円とするもの。

- ・歳入》
 - ・前年度繰越金 17万9千円
- ・歳出》
 - ・人事異動に伴う職員給与等増 17万9千円

水道事業会計(第2号)

- ・水道事業収益(収入) ▲335万3千円の減
- ・水道使用料の減額
- ・水道事業費用(支出) 704万5千円の増
- ・水源及び浄水費、消費税の増加による
- ・資本的収入

財産取得

▲340万円の減
 工事負担の減収
 ・資本的支出
 ▲2,712万9千円の減
 配水設備費(委託料工事請負費)の減額

土地開発公社所有地売買契約を締結し財産を取得すること

1. 財産の種類 土地
2. 住所 東段30番2他7筆
3. 地目 宅地及び雑種地
4. 地積 5877・17㎡
5. 取得金額 6,067万5千9百円
6. 取得の目的 福島地方土地開発公社所有地の買戻しのため
7. 契約の相手方 住所 福島市五老内町3番1号



委員会報告

総務文教 常任委員会
 委員長 原 賢志

現在、当委員会は次の2点について所管事務調査を行っている。

・健全な財政運営のための「健全財政について」

本町における財務内容について、各自の分析結果をもとに調査を行っている。経常収支比率の改善が重要であることから、担当課長から具体的改善策について説明を受け質疑等を行った。

・移住・定住を促進するための「移住・定住について」

近隣市町の取組について資料をもとに調査を行った。また、地元企業の拠点統合に伴う移住・定住推進策について担当課長から説明を受け、質疑を行った。

産業厚生 常任委員会
 委員長 佐藤 武朗

当委員会は、閉会中の所管事務調査を「産業振興策」「空き家・空き地」「健康寿命延伸策取り組み」について行っている。平成29年10月27日に、まちづくり推進課より、本町の経済活性化に欠かせない(仮称)国道4号IC周辺の開発に関しての取り組み状況と今後の展開について次の点の説明を受けた。

・IC周辺の開発に関しての取組は総合計画に基づいて進めている。

・改正農村地域工業等導入促進法(農工法)Ⅱ農村産業法に改正)について

・改正農工法の国の基本方針概要について

・IC周辺の農業振興地域についての計画、方向性について

・どの程度の企業進出が見込めるかのニーズ調査について

庁舎建設調査 特別委員会
 委員長 原 賢志

次に商工観光室より「空き家・空き地」に関連した空き店舗等の実態調査を踏まえた今後の対応について次の三点の説明を受け質疑を行った。

・国道4号沿線を含めた空き店舗、空き地、空き家の調査結果の説明

・空き店舗解消に向けての今後の計画について

・県の活力ある商店街支援事業(空き店舗対策)について今後更なる調査を進め次回定例会に報告する予定だ。

第10回特別委員を11月9日に開催し、10月31日に決定した基本設計業務プロポーザル選定結果について、説明を受け質疑を行った。現在、庁内の「新庁舎機能検討ワーキンググループ」会議において協議・検討が行われている。今後も、引き続き調査を行っていく。

議会改革活性化 調査特別委員会
 委員長 羽根田 八千代

9月定例会閉会后10/6・第9回、10/27・第10回、11/16・第11回、12/15・第12回)4回の特別委員会を開催し、議会改革活性化のため次の事項について協議を進めた。

議会機能強化について
 1. 公平・公正、透明な議会運営

- (1)議会運営の透明化
- (2)適切な行政の監視と評価
- (3)適正な行政運営と緊張関係の確保

・政策提案の説明開示
 ・予算・決算審議のあり方の検討

3. 町民本位の政策立案と提言

(1)政策形成サイクルの確立

・町民要求の把握

・議員間の自由討議による合意形成

・政策討論会の実施

・専門的知見の活用

4. 議会力、議員力の強化

(1)議会機能の強化

・議員研修会の充実

- (2)議会の資質向上
 - ・議員研修の充実を図る
 - ・議会図書館の充実とICTの導入を推進する
5. 継続的な議会改革の推進
 - (1)議会のあり方調査研究
 - ・議会活性化計画を作成し、年次評価と推進を図る
6. 議会災害時対応基本計画策定
 - (1)町地域防災計画と連携して情報共有し協議を行い、訓練を実施する

特に広報広聴委員会、議会モニターの設置、予算・決算審議のあり方、政策討論会、政務活動費等については今後具体的に協議を進める。





佐藤 榮三 議員



— 次年度以降も実施を —

これも質問

問 橋梁を修繕し、地元住民の生活利便性を確保すべき

答 町内勤労者の子供の保育所、入所受け入れは公設公営の施設ゆえ町内在住が要件

問 橋梁を修繕し、地元住民の生活利便性を確保すべき

答 利用実態を考慮し対応していく

一般質問

ズバリ町政を問う60分

- 一般質問は、質問者が事前に提出した通告書に基づいて、一人持ち時間60分で行われます。
- 内容は、質問者の責任において作成されたものを掲載しています。
- 質問項目は、通告によるものです。
- 一般質問の様子は桑折町議会のホームページ(録画)でご覧いただけます。

8名登壇

登壇議員	質問項目
佐藤 榮三	<ul style="list-style-type: none"> ・桑折町農業振興策について ・道水路整備について ・町内橋梁について ・町内勤労者の子供の本町、保育園、幼稚園への受け入れについて
半澤 高	<ul style="list-style-type: none"> ・財政計画の策定について ・衆議院総選挙での選挙管理委員会の対応等について ・まちなかの活性化と現役跡地活用について ・ネーミングライツ(命名権)の導入について ・町職員の「移住・定住」について ・婚活支援事業について
佐藤 武朗	<ul style="list-style-type: none"> ・町内で実施される各種団体の事業(イベント)等の日程対応について ・空き家等対策の取り組みについて ・ふるさと納税のさらなる活用について ・イノシシから史跡桑折西山城跡を守る対策について ・健康寿命の延伸策について
川名 静子	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢社会への支援体制に関して ・除染廃棄物に関して ・住生活基本計画に関して ・桑折駅前駐車場に関して ・社会教育施設、特に桑折公民館に関して
羽根田 八千代	<ul style="list-style-type: none"> ・第7期高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定について ・有害鳥獣対策に万全を期すべきことを求める決議に対する今後さらなる対応策について ・【歴まち法】認定後の街づくり方針と30年度予算編成方針について
岩崎 久男	<ul style="list-style-type: none"> ・原発事故と生業訴訟について ・都市計画法第34条11号について ・危機管理体制の強化について
齋藤 松夫	<ul style="list-style-type: none"> ・桑折町再生可能エネルギー導入推進計画の具体化について ・29年度及び30年度における有害鳥獣対策と遊休農地対策について ・温泉発掘を機に9億円を投じた町民研修センターうぶかの郷の温泉源枯渇対策について ・移住定住推進と公営住宅の修繕について ・公立藤田病院組合負担金について
斉藤 謙	<ul style="list-style-type: none"> ・第48回衆院選の投票率に関して ・JAラート等に関して ・仮称桑折IC周辺整備に関して ・桑折町農業振興活動拠点施設等に関して ・行財政改革等に関して ・監査制度のあり方等に関して

いかに稲作農家の所得安定を図るか 団地化交付金事業で次年度以降も

問 一部の農家の方は生産調整(減反)が無くなって自由に米が作れると思っている。これは、「米の直接支払い交付金」制度と国の目標面積配分が行われなくなるのであって、経営所得安定対策は継続されるものと理解している。町としては次年度以降の稲作農家への影響をどの様に考えて居るか。

答 町長 農家所得の安定を図るためにも県の自主的配分会議からの桑折町農業再生協議会へ

問 今後の推進方法については、町の自主的配分会議終了後、町内各地域での説明会を通じて、皆様の理解を得ながら推進していく。

問 一部の農家の方は生産調整(減反)が無くなって自由に米が作れると思っている。これは、「米の直接支払い交付金」制度と国の目標面積配分が行われなくなるのであって、経営所得安定対策は継続されるものと理解している。町としては次年度以降の稲作農家への影響をどの様に考えて居るか。

答 町の生産目標数量を達成し、国が進める経営所得安定対策、合わせて町独自の桑折町水田農業構造改革対策奨励金事業(団地化奨励金交付事業)を進め稲作農家の収入安定確保のために次年度以降も継続する。

多面的機能支払事業での道水路整備を 活用には組織強化が必要

問 スーパーやなみ事業の実績と効果についての様に評価しているか。

答 町長 各町内会の要望により今年度は8カ所施工予定、現在5カ所竣工。効果については、生活道路中心に整備、地域住民の利便性向上に寄与している。しかし設立当初は、現物支給による工事であったが、現在は人的確保が困難となり指導員派遣型となってきたりして事業委託に近い形になっている。一部見直し時期に来ているが次年度も継続する。

問 道水路維持管理のため「多面的機能支払交付金事業」の拡大を図るべきと思うが。

答 農業用道水路の補修については「資源向上支払」制度を活用することで、地域住民による道水路の維持管理の一部を担うことは可能だと思う。



半澤 高 議員

衆院選での啓蒙活動は 多くの啓発を実施した

10月22日投票の衆院選について次の点を伺う。

問 10代20代前半の町民にどのような啓蒙活動を実施したのか

答 選挙管理委員会委員長 18歳になる有権者へ啓発パンフレットを送付、成人式での啓蒙パンフレット配布、JR桑折駅で高校生、通勤者への投票の呼びかけ等を実施した。

問 台風21号の災害対応の中で開票作業はどうだったのか。

答 選挙書記長 開票事務従事者が災害対応に従事することとなり開票作業終了時間が若干遅

くなつたが、特に問題はなかった。

問 災害対応担当課長(総務課長)が選挙書記長を兼任することの見直しは。

答 副町長 次年度の組織改編を考案中で検討したい。

問 「投票証明書」の発行は。

答 選挙管理委員会委員長 「投票証明書」は法的根拠はなく、発行は各市町村選挙の判断による。発行に関しては、証明書を利用した行為が特定の候補者の利益にならないよう注意が必要。



— 投票証明書の例 —

※投票証明書を見せることによって飲食店等で割引を受けることができる所もあるが…。

「移住・定住」は町職員から 施策の理解・対応を働きかける

町では「移住・定住」に関して各種施策を進めているが、「移住・定住は職員から」の観点から次の点を伺う。

問 町外から通勤する職員数は。

答 町長 現在34名いる。(全職員数128名中)

問 町外者採用の際に町へ移住してもらうような対策は。

答 採用試験の面接の際、町外の受験者に対しては、災害対応のため町内への居住についての意思を確認し、町内への居住を促している。

問 町職員が移住・定住するための対策は。

答 町の「移住・定住」施策を理解し対応するよう働きかけていく。

これも質問

問 中心商店街の賑わい創出は

答 「にぎわいと活力の創造」に取り組む

問 ネーミングライツ(命名権)の導入は

答 慎重に対応すべき事案と考える

問 「桑折桃コン」は県補助終了で終わりが

答 一過性でなく

継続的に育める環境づくりに努める



佐藤 武朗 議員

イノシシから、町民・観光客を守るには 関係機関と協議のうえ速やかに

平成33年に全国山城サミットの計画が予定されている「史跡桑折西山城跡」のイノシシ被害対策について伺う。

問 史跡の整備を進めている中、遺構保護のための盛土内に多数の掘り返しの跡が見受けられる。史跡を訪れた観光客はもとより、町民の安全・安心のためにも早期に史跡内からのイノシシ排除に向けた対策が必要と考えるが。

答 町長 史跡内の指定範囲内への有害鳥獣防護柵については、福島県文化財課・文化庁と協議。また、担当課と連携のうえ速やかに必要箇所へ設置する。

問 イノシシ被害対策は、農地を守るという観点では産業振興課が対応。文化施設、住民の安全・安心のためには、全庁挙げての対応が必要と考えるが。

答 町長 対策については、主に農業被害に留まっているが、人的被害の未然防止や文化財への被害防止の観点からも、関係各課と連携を図り対応する。



— イノシシの運動場? —

町内での催事日程の調整が可能に 町ホームページの充実を図る

町内で開催される各種団体の事業(催事)等の日程調整について伺う。

問 町の事業は当然、町内の各種団体(大・小)が本町の振興、発展に向け開催し、年々増加傾向にあり、重複するケースも多い。各団体が事前に日程の調整が可能になる仕組みが必要。そこで、行政内に窓口の開設。また、町のホームページで各団体の予定が見られるようになれば、主催者の日程調整も可能になるのでは。

答 町長 年間のイベント・行事については、実施団体と密接な連携を図り、日程調整に努める。また、町ホームページのリニューアルも進めており、イベントカレンダーのページを充実する作業を進めている。町関連事業は、年間のスケジュールが見通せるようにし、各団体での日程調整を図り易くする。

これも質問

問 空き家対策等は民間活用も必要では

答 各種団体等と連携を深めることは重要

問 ふるさと納税の新たな支援制度取り組みは

答 クラウドファンディング型ふるさと納税等の導入

問 県の「お達者度」公表の本町の対応は

答 元気で過ごせる生活習慣づくりの積極的展開



川名 静子 議員

突如スリッパが変わったのは 利用者の感想をいただき試験的に



— スリッパが変わっても階段昇降は危ない —

拠点となる中央公民館がない現在、その代わりをなすのが地区公民館。その中でも36年を経た桑折公民館の整備について伺う。

問 今年度のトイレ改修に係る設計業務は次年度に改修工事となるのか。

答 教育長 関連予算の計上及び施工計画は設計内容を精査し検討する。

問 今使用しているスリッパでの昇り降りは大変危険だ。土足が可能とはならないか。

答 スリッパの更新を検討している。土足での利用は施設の管理上遠慮いただいている。

問 古い建物だからこそ磨きをかけ活かすべきだ。館内清掃についてどんな調査をしどんな方法が見い出せたのか。

答 職員による点検結果を踏まえ、トイレ便器、手洗台の研磨を業者に委託した。調理室も整理整頓した。

問 シルバーへの委託内容の見直し確認が必要では。

答 地区館長の指導のもと受託者と業務内容の確認を行い実施する。

一人ぐらしの高齢者に対する支援は 配食、見守り等のサービスを提供

本町の高齢化率は35%。20

25年には「団塊の世代」が75歳の後期高齢者となる。「高齢者の尊厳を支えるケアの確立」を基本に高齢者介護のあり方を長期的にとらえた町の考え、方向性を伺う。

問 男性の一人暮らしに対してどのような支援体制を図る計画か。

答 町長 配食サービスや見守りの実施等幅広いサービスを提供している。第7期計画でも支援体制を強化する。

問 認知症対策の支援対策は。

答 4月から公立藤田病院に委

託、医師や看護師等の専門職に係る認知症初期集中支援チームを設置。10月から認知症サポート・養成講座や認知症カフェを開催、支援する。

問 平成24年制度改正により地域包括ケアシステムへの取り組みが開始された。課題・改善点は何か。

答 見守りや生活支援等の具体的な課題・改善点を検証、高齢者が住み慣れた地域で自立した生活が送れるよう取り組んでいく。

これも 質問

問 仮置場からの撤出完了時期は

答 環境省は、平成32年度以降の見通しと

問 駅前駐車場の調査結果は

答 町民利用を最優先に検討を進めている

第7期介護保険料の見直しは 現行料金に留めたい

すべての高齢者が、住み慣れた地域で、いつまでも健やかに、安心して暮らせるよう、第7期計画策定の時期であることから次の点を伺う。

問 第6期計画の課題と評価は。
答 町長 総合事業へ早期移行や予防事業実施により給付費等は、抑えられたが事務量が増えた。

問 介護予防事業への参加者数増加への取り組み強化は。
答 いきいき百歳体操の桑折版DVDを活用し普及拡大に努める。

問 支える従事者の資質の向上、人材育成が大きな課題だ。各事業所の自助努力でもあるが、町の支援策は。
答 11月29日全国町村会でも国へ要望した。

問 家族介護支援事業強化やボランティア活動のポイント制度の導入を。
答 ポイント制は、有効な手段だ。先進事例を研究し前向きに検討する。

問 第7期の保険料の見直しは。
答 現在ある基金(4,815万4千円)を活用し、可能な限り現行料金に留めたい。

イノシシ侵入今後さらなる対策は 30年度緩衝帯全線設置を進めたい

侵入防止効果を発揮させるため、緩衝帯設置モデル地区(松原中)もできたことから、次の点を伺う。

問 関係住民との協議等今後の対策は。

答 町長 モデル地区見学会を実施した結果、新たに二地区が実施予定だ。関係町内会の理解と協力をいただき30年度全線設置を進めたい。

問 道路等から侵入防止のための効果的措置は。また、臭いでの防止する補導策導入など多重駆除策を。
答 侵入防止グレーチングを川前線にモデル事業として設置し、効果を検証する。多重駆除策は、あらゆる見地から検討する。

問 設置内の早期駆除は担当課のみならず空き家対策や環境美化等、庁内あげての対策を。
答 町全体の課題として対処する。

問 防護柵の維持管理対応策は。
答 緩衝帯の早期整備と多面的機能支払い交付金事業を活用等検討する。



羽根田八千代 議員

桑折版「いきいき百歳体操」



桑折版「いきいき百歳体操」

これも 質問

問 【歴まち法】活かすまちづくり方針と予算は

答 都市再生整備事業計画作成予算を計上する



齋藤松夫議員

利用と負担率乖離への対応は 藤田病院管理者会で協議し結論

問 現行規約に基づく藤田病院負担金は、5対4対1で、構成市町の利用状況と大きく乖離していると考えます。私は本町選出議員の合意のもと藤田病院組合議会で改善策を提案し、町議会全員協議会で報告済みだ。その後管理者会で協議がなされたが、その結論をどのように認識しているか。

答 町長 町全員協議会での報告事項については承知してないが、藤田病院組合負担金については、参与会での議論をふまえ、管理者会では「負担割合は変更しない。医師や看護師の確保、医療機器の整備など、特別の目的をもった事業に対して必要ならば、新たな負担割合によって補助を行うことが望ましい。」と結論づけたところだ。

公立藤田病院補助負担率と利用状況

構成市町	負担率	補助金	地区別患者数と比率			
			外 来		入 院	
国見町	5	6,500 万円	40,004 人	26%	16,133 人	19%
桑折町	4	5,200 万円	32,486 人	21%	14,438 人	17%
伊達市	1	1,300 万円	56,152 人	36%	40,862 人	47%
他市町			25,681 人	17%	14,985 人	17%
			(梁川町 29,606 人 19%)		(梁川町 18,983 人 22%)	

平成 28 年度決算関係資料より



岩崎久男議員

都市計画法 34 条 11 号の進捗は 制度の説明会の開催や合意形成の促進を図る

問 現在までの 4 地区(下郡、下成田、田町、桐ヶ窪)町内会役員が招集され説明会を行ってきたが、参加者からは少子高齢化が進み、人口減少問題による地域コミュニティの低下が起きている等の意見を述べられた。制度の理解と住民の合意形成が課題であることから町が主導的な役割を發揮すべきと考えるが所見は。

答 町長 福島県との事前相談を進めており関係町内会の全住民を対象として制度の説明会を開催するなど合意形成の促進に努めていく。

問 区域指定対象区域の拡大について調査検討を行った結果は、対象区域の拡大については、福島県と諸要件確認を進めている段階です。

問 区域指定を受けた場合、固定資産税の増減が発生するか。

答 区域指定による増減はないと考えている。

問 制度を活用することでインフラ整備の促進、ミニ開発による土地の有効活用などの効果が得られ、移住定住に繋がると考えるが。

答 区域指定により新たな住宅建設が進めば、移住定住に繋がるものと考えている。



— 地域の活性化へ —

原発事故の責任は国と東電を断罪 原告の主張が認められたものである

問 福島地裁の判決(10月10日)に対する認識は。

答 町長 福島地裁の判決については、津波予見や事故回避などの争点において、概ね原告の主張が認められたと認識している。

問 町には支援事業各施設の無償開放について、今後も継続して戴きたいと考えるが。

答 「町原子力損害賠償請求に係る支援に関する条例」に基づく支援については、引き続き継続する。

これも質問

問

答 危機管理体制強化は新庁舎には防災拠点として、必要な整備を検討

地方創生のなかに有害鳥獣対策を 農業振興上の大きな課題と認識

問 有害鳥獣、遊休農地対策は事の重大性に鑑み、「地方創生」事業の中に位置づけて、積極策を講ずべきだ。また、侵入防止柵里側対策としての里側山林外縁部の囲い込みについての検討状況はいかがか。農業委員会建議の「恵みの農地再生事業」の要件緩和は喫緊の課題だ。関係団体による草刈り活動を中心とした「恵みの農地維持管理事業」を創設してはどうか。

答 町長 この問題は本町農業振興上の大きな課題ととらえ、解決に努めている。柵の里側では鳥獣被害対策実施隊による捕獲に努めているところだ。柵里側山林外縁部の柵設置については、地元町内会及び土地所有者との協議において決定し、実施して参りたい。草刈り活動は多面的支払い交付金による、住民の取り組みが有効と考える。

これも質問

問

答 市街化調整区域内の空き家は何軒か
空き家 124 軒のうち 71 軒

問

答 都市計画法 34 条 11 号区域指定の進捗は
関係緒内会長に区域指定図案を配布

問

答 町公営住宅(坂下住宅)に簡易水洗トイレの検討を
検討してみる



齊藤 謙 議員

IC周辺へのイオンの進出はない 某紙の記事の取材は一切ない

問 当町が計画しているIC周辺への大型商業施設(イオン)の進出報道が掲載されているが、事実か。また、物流倉庫の進出も併せて報道されているが、町当局と開発協議が進められているとの記事であるが、事実であればその進捗状況を伺う。

答 町長 某紙の報道に関して、イオン関係者が、発信元の確認に来庁副町長等が対応し、某紙に掲載されているような取材は一切無かったと回答した。また報道されている物流倉庫等についても、現時点で話はない。

問 インターチェンジ周辺整備の今後の課題は、また、道路拡張等に際し、伊達市との連携強化が必要と思われることから、協議会等を早期結成し取組みすべきと考える。

答 伊達市を含め、近隣市町と首長・担当者間での協議会等を結成した取組み調整を検討していきたい。



— 平成 33 年開通に向けて —

外部有識者による監理委員会設置を ふるさと納税等で自主財源確保

問 早期に財政計画を策定し、各種事業の歳出が財政枠内で対応可能か等を明確にした取組が肝要でないか。新庁舎建設の概算費用算出と総合計画の実施計画策定を受けて財政計画を策定することは、経営者であればとても理解できない。これでは新庁舎建設に併せた財政計画で、財布にいくらあるかを確認しないで各種事業計画を行うことになるのではないか。また、経常

收支比率の改善は喫緊の課題でないか。なお、行財政の改革の改善が進展しないのであれば、外部有識者による行政経営監理委員会(仮称)を設置し、各種計画の進捗管理をチェックをしていく必要があるのではないか。

答 町長 経常的収入は独自の取組みでの増収は難しく、ふるさと納税等臨時的自主財源の更なる確保に努める。

これも質問

問 若年層の更なる投票率アップ策は

答 町外在住先での投票可能策を検討

問 農業拠点整備事業運営が不透明

答 2月内を目途に、議会へ説明

問 高齢者には戸別受信機を設置

答 戸別受信機設置は研究する

議会基本条例に基づく

町民の皆様と 議会報告会 & 意見交換会 開催

本議会は、平成23年9月桑折町議会基本条例を制定し、「町民に開かれた議会・町民参加の議会・議会機能強化」の三本柱を核に議会改革を進めております。

今年度2回目の開催となった議会報告及び町民の皆様との意見交換会は、4地区を全議員が出席しての開催でした。説明にはパワーポイントを活用し分かりやすい説明をしました。夜間にもかかわらず御出席をいただきありがとうございました。

「ご意見等の一部抜粋

睦合地区

10/24・睦合ふれあい会館

- ・イノシシ被害は、防護柵が破られ被害が発生している。地域の環境整備や補助金を活用して有効な対策をしてほしい。
- ・防災無線局の運用の現状は。
- ・エリアメールの発信と防災無線のやりとりについて。
- ・防災無線の通信のスキルアップとマニュアルが必要。視察研修の成果と農地・宅地の住み分けは。
- ・交通の利便性の良い牛沢地区は宅地開発が出来るのでは。

伊達崎地区

10/26・伊達崎公民館

- ・町広報と議会だよりの係数の整合性について。
- ・行政財産等について、報告が必要ではないか。
- ・庁舎建設に関する委員会に議会からも参画するべきではないか。
- ・新庁舎建設に関して、今後の財政運営上の返済計画はどのようになるか。
- ・Jアラートについて。
- ・ひと・農地プランの今後のあり方について。
- ・多面的機能支払交付金事業の事務取り扱いに関して、郡議員大会での要望事項の進捗について。
- ・議会報告会の開催のあり方について。

桑折地区

10/25・桑折公民館

- ・空家・空店舗・空地。商店街の活性化について。
- ・町の自主財源について。
- ・防災無線・Jアラート、エリアメールを使用する周知方法は。
- ・防災無線で連絡を受けても不在の時があるが確認をする方法はあるか。
- ・仮設住宅の撤去後の活用は。
- ・副町長の役割と副町長室について

半田地区

10/27・半田コミュニティセンター

- ・陰山メソッドは、町レベルでやらなければ広がらないのでは。
- ・議員の年齢が高くなってきている。若い人を多くする方法はあるのか。
- ・若い人の意見を聴くための意見交換会などのあり方は。
- ・町内会の新年会等で議員を呼ぶ目的はなにか。
- ・補助金で作った建物や、イベントについて。
- ・イコーゼ(プール)の利用者が少ない。
- ・もっと人を呼び込むようなアイデアはないのか。

頂いた御意見、アンケート等は、今後の議会・議員活動の中で活かしていきます。

【伊達地方衛生処理組合】

選出議員 佐藤榮三・岩崎久男

一般会計

歳入総額5,623万3千円、歳出総額5,568万2千円、歳入歳出差引55万1千円となった。財政調整基金29万9千円を経常経費財源として取崩したほか、利子1千円を積立てたことにより、年度末現在高は137万3千円となった。

し尿処理事業特別会計

歳入総額3億5,528万8千円、歳出総額3億5,399万6千円、歳入歳出差引129万2千円となった。施設整備基金の取崩額948万7千円を機器の保証期間終了による維持補修費の財源として充当したほか、元利金115万7千円を積立てたことにより、年度末現在高は5,363万9千円となった。減債基金の取崩額3,823万4千円を起債の元利償還に充当したほか、元利金3,812万8千円を積立てたことにより、年度

末現在高は3,818万6千円となった。

ごみ処理事業特別会計

歳入総額41億9,880万7千円、歳出総額41億9,016万8千円、歳入歳出差引863万9千円となった。ただし、災害復旧関係事業(指定廃棄物保管業務、廃棄物処理施設モニタリング事業、除染事業)を差し引いた通常事業分は、歳入総額5億4,372万1千円、歳出総額5億3,509万1千円、歳入歳出差引863万円となった。施設整備基金の取崩額8,782万円を維持補修費、埋立処分地施設再生事業基礎調査業務委託料、指定廃棄物保管事業等の東京電力賠償金財源の一時立替金として充当したほか、元利金400万6千円を積立てたことにより、年度末現在高は6,562万8千円となった。減債基金は1千円を積立て、年度末現在高は619万2千円となった。

一般会計

単位：千円

歳入					歳出			
区分	予算現額	調定額	収入済額	予算対比	区分	予算現額	支出済額	不用額
分賦金	55,346	55,346	55,346	0	議会費	804	789	14
財産収入	1	0	0	0	総務費	55,026	54,892	133
繰入金	299	299	299	0	予備費	400	0	400
繰越金	531	531	531	0				
諸収入	53	56	56	▲3				
合計	56,230	56,233	56,233	▲3	合計	56,230	55,682	547

し尿処理事業特別会計

単位：千円

歳入					歳出			
区分	予算現額	調定額	収入済額	予算対比	区分	予算現額	支出済額	不用額
分賦金	304,610	304,610	304,610	0	衛生費	176,648	176,059	588
使用料・手数料	83	84	84	▲1	基金費	39,287	39,285	1
財産収入	24	24	24	0	公債費	138,652	138,651	0
繰入金	47,721	47,721	47,721	0	予備費	500	0	500
繰越金	1,794	1,794	1,794	0				
諸収入	855	1,053	1,053	▲198				
合計	355,087	355,288	355,288	▲201	合計	355,087	353,995	1,091

ごみ処理事業特別会計

単位：千円

歳入					歳出			
区分	予算現額	調定額	収入済額	予算対比	区分	予算現額	支出済額	不用額
分賦金	317,054	317,054	317,054	0	衛生費	4,123,374	4,122,527	846
使用料・手数料	129,569	130,484	130,484	▲915	基金費	4,009	4,007	1
国庫支出金	4,131	4,084	4,084	46	公債費	63,634	63,632	1
県支出金	3,531,265	3,531,264	3,531,264	0	予備費	3,000	0	3,000
財産収入	39,210	42,905	42,905	▲3,695				
繰入金	87,820	87,820	87,820	0				
繰越金	5,461	5,461	5,461	0				
諸収入	79,507	79,982	79,731	▲224				
合計	4,194,017	4,199,059	4,198,807	▲4,790	合計	4,194,017	4,190,167	3,849

【公立藤田病院組合】

選出議員 羽根田八千代・原 賢志・齋藤松夫・佐藤武朗

平成28年度は、残念ながら2年連続の赤字計上となった。

患者延数は、入院86,453人(前年比1,041人減)、外来152,920人(前年比13,177人減)といずれも前年を下回っている。また、診療単価は入院38,262円(前年比457円増)、外来11,548万円(前年比664円増)と4月に実施された診療報酬のマイナス改定にもかかわらずいずれも増加したものの、やはり改

定の影響は大きかったと思われる。

収益的収支は、収入58億3,066万6千円、支出58億5,670万4千円となり収支差引▲2,603万7千円となった。

資本的収支は、収入1億6,882万7千円、支出4億6,187万3千円となり収支差引▲2億9,304万6千円は過年度分損益勘定留保資金で補てんした。

収益的収入および支出

単位：千円

収 入						支 出					
区分	当初予算	補正予算	合計	決算額	予算対比	区分	当初予算	補正予算	合計	決算額	不用額
医業収益	5,607,928	▲205,666	5,402,262	5,436,938	34,676	医業費用	5,913,408	▲149,000	5,764,408	5,761,728	2,679
医業外収益	429,046	▲10,609	418,437	413,016	▲5,420	医業外費用	116,406	0	116,406	114,866	1,539
特別利益	0	0	0	2,479	2,479	病院組合費	2,768	0	2,768	1,332	1,435
合計	6,036,974	▲216,275	5,820,699	5,852,433	31,734	特別損失	0	0	0	0	0
						予備費	4,392	▲4,392	0	0	0
						合計	6,036,974	▲153,392	5,883,582	5,877,927	5,654

資本的収入および支出

単位：千円

収 入						支 出					
区分	当初予算	補正予算	合計	決算額	予算対比	区分	当初予算	補正予算	合計	決算額	不用額
出資金	167,636	▲1,509	166,127	166,127	0	建設改良費	166,471	▲20,000	146,471	140,344	6,126
国(県)補助金	1	2,699	2,700	2,700	0	企業債償還金	321,529	0	321,529	321,528	0
合計	167,637	1,190	168,827	168,827	0	合計	488,000	▲20,000	468,000	461,873	6,126

収支差引不足額2億9,304万6千円は過年度分損益勘定留保資金で補てんした。

【伊達地方消防組合】

選出議員 川名静子・渡邊英直

平成28年度一般会計の歳入総額は、16億8,003万7千円に対し歳出総額は、16億4,968万3千円で歳入歳出差引額は、3,035万3千円となった。

監査委員より事務の執行等が適正に処理されてい

るとの報告があった。また、老朽化が進む各分署庁舎の改築については、構成市町の理解を得る努力が重要との意見である。

単位：千円

歳 入					歳 出			
区分	予算現額	調定額	収入済額	予算対比	区分	予算現額	支出済額	不用額
分担金・負担金	1,418,000	1,418,000	1,418,000	0	議会費	1,229	1,075	153
使用料・手数料	1,023	1,243	1,243	▲220	総務費	89,561	84,757	4,803
国庫支出金	5,541	5,541	5,541	0	消防費	1,426,155	1,404,337	21,817
県支出金	1,505	1,505	1,505	0	公債費	159,516	159,514	1
財産収入	28	27	27	0	予備費	3,004	0	3,004
寄附金	1	0	0	1				
繰入金	0	0	0	0				
繰越金	37,065	37,065	37,065	0				
諸収入	12,802	13,153	13,153	▲351				
組合債	203,500	203,500	203,500	0				
合計	1,679,465	1,680,037	1,680,037	▲572	合計	1,679,465	1,649,683	29,781

○全会一致で可決の議案

第6回臨時会		
議案名	討論者	
承認第1号 専決処分の承認を求めることについて(平成29年度桑折町一般会計補正予算(第5号))		
議案第44号 平成29年度桑折町一般会計補正予算(第6号)		
第7回定例会		
議案名	討論者	
議案第45号 桑折町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例		
議案第46号 桑折町道路線の廃止について		
議案第47号 桑折町道路線の認定について		
議案第48号 平成29年度桑折町一般会計補正予算(第7号)	齋藤松夫	
議案第49号 平成29年度桑折町国民健康保険特別会計(事業勘定)補正予算(第3号)		
議案第50号 平成29年度桑折町介護保険特別会計(保険事業勘定)補正予算(第2号)		
議案第51号 平成29年度桑折町公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)		
議案第52号 平成29年度桑折町水道事業会計補正予算(第1号)		
議案第53号 福島地方土地開発公社所有地売買契約に伴う財産の取得について		

議会活動状況報告 平成29年9月20日～平成29年12月11日

年月日	活動状況	内容	出席者
29 9	20 議会広報委員会	議会だより秋号の編集	選出委員
	25 議会広報委員会	議会だより秋号の編集	選出委員
	医療・介護に関する勉強会	「医療・介護の現状」について	全議員
26	例月出納検査	定例検査	選出委員
27	議会全員協議会	9月定例会総括、諮問答申事項、議会報告会、委員会等視察研修について	議長外
29	議会広報委員会	議会だより秋号の編集	選出委員
10	3 議会広報委員会	議会だより秋号の編集	選出委員
	5 議会全員協議会	町からの説明(地域防災訓練におけるエリアメールの誤配信、日立オートモティブシステムズ(株)からの支援依頼等、予算の専決処分について)、桑折町都市計画審議会委員の選出、議会報告会について	全議員
	6 第9回議会改革・活性化調査特別委員会	議会活性化計画策定について	選出委員
	総務文教常任委員会	所管事務調査「健全財政について」「移住・定住について」	選出委員
	桑折町商工会役員来庁	桑折町商工会館建設関係の要望について	議長
	12 伊達郡町村議会議長会事務局長来庁	伊達郡町村議会議長会の要望活動に関する打ち合わせ	議長
	公立藤田病院組合議会全員協議会	平成29年第2回定例会提出議案について	選出議員
	平成29年第2回公立藤田病院組合議会定例会	条例改正1件、平成28年度公立藤田病院組合病院事業会計決算認定	選出議員
	16 伊達郡町村議会議長会要望活動	福島県・福島復興再生総局に対する要望活動	議長
	24 伊達地方消防組合議会全員協議会	平成29年第2回定例会提出議案について	選出議員
平成29年第2回伊達地方消防組合議会定例会	平成28年度一般会計歳入歳出決算の認定、平成29年度一般会計補正予算	選出議員	
伊達地方衛生処理組合議会全員協議会	平成29年第2回定例会提出議案について	選出議員	
平成29年第2回伊達地方衛生処理組合議会定例会	平成28年度一般会計・し尿処理事業特別会計・ごみ処理事業特別会計歳入歳出決算認定、平成29年度伊達地方衛生処理組合一般会計・し尿処理事業特別会計・ごみ処理事業特別会計補正予算、同意1件	選出議員	
議会報告会(陸合地区)	9月定例会報告等・町民との意見交換	全議員	
25	例月出納検査	定例検査	選出委員
議会報告会(桑折地区)	9月定例会報告等・町民との意見交換	全議員	
26	議会報告会(伊達崎地区)	9月定例会報告等・町民との意見交換	全議員
27	産業厚生常任委員会	所管事務調査「産業振興策について」「空き家・空き地について」	選出委員
第10回議会改革・活性化調査特別委員会	議会活性化計画策定について	選出委員	
議会報告会(半田地区)	9月定例会報告等・町民との意見交換	全議員	
11	1 平成29年度町村監査委員全国研修会	地方自治法改正、効率化の執行と監査責任について	選出委員
	2 平成29年度町村監査委員全国研修会	自治体権限の適正管理と監査の具体的ポイントについて	選出委員
	6 議会運営委員会	第6回臨時会議事日程等	選出委員
	議会全員協議会	第6回臨時会議事日程等、議案内容の説明、議会報告会総括について	全議員
	第6回臨時会本会議	専決処分の承認、平成29年度一般会計補正予算	全議員
	7 福島県町村議会議長会 理事・監事合同会議	平成28年度一般会計決算の承認 外	議長
	9 総務文教常任委員会	所管事務調査「健全財政について」「移住・定住について」	選出委員
	第10回役場庁舎建設調査特別委員会	新庁舎建設基本設計業務プロポーザルの結果について	選出委員
	16 第11回議会改革・活性化調査特別委員会	議会活性化計画策定について	選出委員
	17 伊達地方衛生処理組合例月出納検査	伊達地方衛生処理組合各会計の定例検査	選出議員
	22 第61回町村議会議長全国大会	全国の町村議会議長による国への要望、決議事項の決定、特別講演等	議長
日立オートモティブシステムズ執行役員来庁	未利用町有地の借用、町有地への路線バス乗り入れについての要請	副議長 産厚委員長	
24 議会運営委員会	12月定例会議事日程等、議長からの付託事項について	選出委員	
27 中央省庁等要望活動	自由民主党本部、財務省、国土交通省、東日本高速道路株式会社への要望活動	議長	
28 例月出納検査	定例検査	選出委員	
12	5 議会全員協議会	12月定例会(第1日)議事日程等、提案内容の説明、出資法人経営状況の説明	全議員
	第7回定例会本会議	一般会計補正予算、特別会計補正予算3件、水道事業会計補正予算の説明	全議員
	6 議会全員協議会	12月定例会(第2日)議事日程等について	全議員
	第7回定例会本会議	一般質問5名	全議員
	7 議会全員協議会	12月定例会(第3日)議事日程等、イノシン対策、公立藤田病院組合議会報告	全議員
	第7回定例会本会議	・一般質問3名 ・条例改正1件、その他議案2件審議採決	全議員
	11 議会全員協議会	12月定例会(第4日)議事日程等、追加議事日程、追加議案内容の説明	全議員
	議会運営委員会	追加議案及び追加議事日程等について	選出委員
	第7回定例会本会議	・一般会計補正予算、特別会計補正予算3件、水道事業会計補正予算審議採決 ・追加議案審議採決(議案1件)	全議員
	議会広報委員会	議会だより冬号の編集	選出委員

【福島地方水道用水供給企業団】

選出議員 片平秀雄

収益的収支は、水道用水供給事業収益43億1,678万1千円に対し、水道用水供給事業費用44億103万円で、収支差引額8,424万9千円が当年度純損失となり、前年度繰越欠損金10億2,117万9千円と合わせた11億5,424万8千円を、未処理欠損金として翌年度に繰越した。

資本的収支は、資本的収入1,027万3千円に対し、資本的支出が23億9,766万7千円となり、不足する額23億8,739万4千円は、過年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額1,091万2千円及び過年度分損益勘定留保資金23億7,648万1千円で補てんした。

収益的収入および支出

単位：千円

収 入					支 出							
区 分	当初予算	補正予算	合 計	決算額	予算対比	区 分	当初予算	補正予算	流用増減	合 計	決算額	不用額
営業収益	3,482,253	0	3,482,253	3,501,726	19,473	営業費用	4,321,424	3,627	▲16,677	4,308,373	4,024,608	283,764
営業外収益	1,075,258	24,482	1,099,740	1,074,441	▲25,298	営業外費用	578,327	0	16,677	595,004	595,004	0
合 計	4,557,511	24,482	4,581,993	4,576,167	▲5,825	予 備 費	100	0	0	100	0	100
						合 計	4,899,851	3,627	0	4,903,478	4,619,612	283,865

資本的収入および支出

単位：千円

収 入					支 出							
区 分	当初予算	補正予算	合 計	決算額	予算対比	区 分	当初予算	補正予算	流用増減	合 計	決算額	不用額
負担金	593,641	0	593,641	10,273	▲583,368	建設改良費	1,179,942	0	0	1,297,136	555,208	28,038
合 計	593,641	0	593,641	10,273	▲583,368	企業債償還金	1,842,459	0	0	1,842,459	1,842,458	0
						予 備 費	100	0	0	100	0	100
						合 計	3,022,501	0	0	3,139,695	2,397,667	28,138

収支差引額不足分23億8,739万4千円は、過年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額と過年度分損益勘定留保資金で補填した。



28年度桑折町の一部事務組合への負担金決算額及び27年度決算額対比表

単位：千円 %：少数点第2位四捨五入

区 分	内 訳	平成28年度 決 算 額	平成27年度 決 算 額	増減額	増減率 (%)
伊達地方 衛生処理組合	一般会計	6,526	6,376	150	2.4
	し尿処理	26,692	25,381	1,311	5.2
	ごみ処理	31,567	29,928	1,639	5.5
	合 計	64,785	61,685	3,100	5.0
公立藤田 病院組合	一般会計	52,000	52,000	0	0
	特別交付税	17,300	21,459	▲4,159	▲19.4
合 計		69,300	73,459	▲4,159	▲5.7
伊達地方 消防組合	一般会計	175,903	170,920	4,983	2.9
合 計		309,988	306,064	3,924	1.3

《歳入の主なもの》

- ・ 歳入歳出の総額にそれぞれ1億3,784万4千円を追加し、予算の総額を55億4,454万6千円とする。
- ・ 《歳入の主なもの》
- ・ 国庫支出金(国重要文化財等保存整備費国庫補助金)2,553万4千円
- ・ 土地開発基金繰入金 4,900万円
- ・ 町債(全国瞬時警報システム事業債) 4,960万円
- ・ 土地取得費(公有財産購入費) 5,966万円
- ・ 文化財保護整備費 4,968万円
- ・ 防災対策費 4,968万円

衆議院議員選挙に伴うもの

6,652千円

一般会計補正予算(第6号)

歳入歳出の総額にそれぞれ1億3,784万4千円を追加し、予算の総額を55億4,454万6千円とする。

第6回、11/6(月)

専決処分1件、補正予算1件が提出され原案通り可決した。

臨時会

補正予算

専決処分

町の声

議会広報委員会では発行後、各地区数名の方々にアンケート調査にご協力を頂いております。皆様からの率直な生の声として、「町民の声」のページに掲載しております。わかりやすい、伝わる紙面づくり、編集の参考にさせていただきます。

◎「議会だより」アンケートから

- 毎回読む 8名
- 目にした時読む 4名
- まったく読まない 0名

◎議会傍聴から

- 今回初めて 1人
- 3回以上傍聴したことがある 1人

「議会だより」を読んで気づいた点・要望など」

- ・ 誰がよんでもわかる用語を使ってほしい。(70代女性)
- ・ 専門用語がわからない。(60代女性)

- ・ 私達の生活と少し距離があるのでわからない事が多い。(60代女性)

- ・ 議員の質問が慣例化され、新鮮みがほとんどない。
- ・ 議員の活動がどの様に行動しているのか順次掲載されれば議員の考え方がわかりやすい。(60代男性)

議会傍聴の受付が変わりました。個人情報保護に配慮し、傍聴人受付簿へ記入後、用紙を箱で保管します。

町当局の主体性のなさが感じられた。(70代男性)

- ・ 議員の発言内容が今いち歯切れが悪い。下準備不足か。
- ・ 答弁者も個々に内容は充分精査して答弁されている様だが現時点における町対応をもっと明確に。

- ・ 事務方側の準備のご苦労がわかる。(60代男性)

編集後記

平成30年新年を迎え、桑折町にとってさまざまな新しい創生の年となる。平成の追分となる復興支援道、相馬福島道の建設も順調に進んでいる。仮称国道4号IC周辺の利活用の検討も大きく前進するよう希望する。

また、役場新庁舎建設に向けても、実施設計が行われる年となり、具体的な新庁舎の姿が見える年となる。このような、さまざまな桑折町の次代の町づくりに対し議会も町民の代弁者として十分に検討の機会をいかしていかなければならないと考える。

渡邊 英直

■広報委員会

委員長 川名 静子 委員 佐藤 榮三
副委員長 渡邊 英直 委員 原 賢志

まちの歳時記 ~平成になり30回目の初日の出~



議会だより

平成30年1月4日発行

発行 福島県伊達郡桑折町議会
責任者 片平 秀雄
編集 桑折町議会広報委員会
電話 (024) 582-2113
印刷 (株)神尾印刷所

<http://www.town.koori.fukushima.jp>